

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

委員会名	RC 基礎部材の構造性能検討小委員会	主 査 名：井上芳生
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：林 静雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>全ての建築物に共通な鉄筋コンクリート造基礎部材（基礎梁、基礎スラブ、杭）の構造性能を明らかにし、性能設計体系関連指針類への反映を図ることを目的とする。</p> <p>初年度：既往文献の収集及び検討 2 年度：課題の抽出・検討 3 年度：外力と応力算定手法並び強度式等の検討 4 年度：報告書の作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	別紙参照	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>クライテリア WG：鉄筋コンクリート基礎部材に生ずる外力と応力の算定手法（相互作用を含む）及び設計クライテリアに関する検討</p> <p>構造性能検討 WG：鉄筋コンクリート造基礎部材（基礎梁、基礎スラブ杭）の耐力・変形性能並びに大断面部材の耐力・変形性能に及ぼす寸法効果に関する検討</p>	
2004 年度予算	350,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会：0 回 クライテリア WG：7 回（延べ、35 名） 構造性能検討 WG：5 回（延べ、22 名）
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) (成果の具体的内容)</p> <p>① 一体解析に基づく限界耐力計算の適用に関する検討結果 ② RC 系杭のモデル化に関する資料収集とモデル化の妥当性検証 ③ 場所打ち RC 杭の強度・変形性能に関する既往実験データ整理と、それに基づく終局強度・変形性能推定式の提案 ④ 大断面部材の寸法効果に関するデータの収集及び整理</p> <p>(成果の価値) : 小委員会の目的達成のための基礎的な資料集・検討実施 報告書完成により技術的価値を有する。 (公開の有無) : 無</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>小委員会 2 年度の活動計画に照らし、概ね目標が達成されたものとする。</p>
その他評価すべき事項	